小型受信機 PMRS-6CH(JR) 取扱説明書

このたびは，小型受信機「PMRS-6CH(JR)　」をお買いあげいただきありがとうございました。　ご使用を始める前に，この説明書を読み安全に注意して使用ください。

■受信機仕様

・送信機信号波形認識機能により毎回送信機の信号特徴をメモリーし，同一周波数で他の送信機から電波が送信されても，信号を判別し混信を防ぎます。
・受信方式：FM-6　チャンネル　（5番ピン出力はCh5　かCh7　に設定可能）
・動作電圧：4.8～6.0V
・受信範囲：600m
・重量：13g
・サイズ：22　×42　×14mm
・アンテナ長：1m
・ホールド機能，フェイルセーフ機能設定可能。
・クリスタル：ＪＲ社製シングルコンバージョンクリスタルもしくはＧＷＳ社製クリスタルを使用すること（クリスタルは別売り）。
・コンピュータプロポの場合，必ず「ＰＰＭモード」でご使用ください

【受信機横からみたピン出力】
上・ピン：白色orオレンジ色のケーブル（信号線）
中・ピン：赤色のケーブル（＋）
下・ピン：黒色or茶色のケーブル（－）

■設定方法

設定をするのに，写真のようなサーボコネクターを利用したジャンパーピン（真ん中の線を抜いて，両側の線を結線したもの）を２個製作する必要があります。

【フェイルセーフ機能】
工場出荷時には，ホールド機能（電波が認識できなくなった場合，サーボ軸の位置はその場で固定）に設定されています。
フェイルセーフ機能（電波が認識できなくなった場合，指定された位置にサーボ軸が移動）に切り替える場合は下記の方法で設定します。
①1CH　にサーボを接続。
②2CH　と6CH　にジャンパーピンを接続
③送信機の電源を入れる。
④受信機の電源を入れる。
⑤２～３秒後に1CH　に接続されたサーボ軸が左右に動作する。
⑥受信機の電源を切る。

フェイルセーフ機能がこれで設定されました。フェイルセーフ時のサーボ位置の指定は下記の方法で設定します。
①送信機の電源を入れ，各サーボの位置を送信機側のスティックで決める。
②空いているチャンネルにジャンパピンを接続する
③受信機の電源を入れて，１０秒ほど待つ。
④受信機の電源を切り，ジャンパピンもはずす。
これでフェイルセーフ時のサーボ位置が設定されました。
安全のため，一度送信機の電源が切れた場合，サーボが指定位置に移動するか確認してください。

【ホールド機能】
ホールド機能を再び有効にする場合は，下記の方法で設定します。
①1CH　にサーボを接続。
②2CH　と5CH　にジャンパーピンを接続
③送信機の電源を入れる。
④受信機の電源を入れる。
⑤２～３秒後に1CH　に接続されたサーボ軸が左右に動作する。
⑥受信機の電源を切る。

ホールド機能がこれで設定されました。
安全のため，一度送信機の電源が切れた場合，サーボ軸が移動しないかどうか確認してください。

【５チャンネル出力ピン設定】
工場出荷時には，５チャンネル出力ピンには，５ＣＨが設定されています。このピンを７ＣＨに割り当てるには，下記の方法で設定します。
①1CH　にサーボを接続。
②2CH　と4CH　にジャンパーピンを接続
③送信機の電源を入れる。
④受信機の電源を入れる。
⑤２～３秒後に1CH　に接続されたサーボ軸が左右に動作する。
⑥受信機の電源を切る。

元のとおり，５チャンネル出力ピンには，５ＣＨを割り当てるには，下記の方法で設定します。
①1CH　にサーボを接続。
②2CH　と3CH　にジャンパーピンを接続
③送信機の電源を入れる。
④受信機の電源を入れる。
⑤２～３秒後に1CH　に接続されたサーボ軸が左右に動作する。
⑥受信機の電源を切る。

＜本製品の免責・注意事項＞
●本製品を安全に使用するのは使用者の責任です。
●同一周波数との同時飛行は絶対にしないでください。
●雨の日の使用はしないでください。また水に濡れた場合は，正常に動作しない可能性があるので本製品の使用を中止してください。
●受信機電源は規定の電圧・十分な容量を持った電源を使用してください。
●電波妨害のある地域，道路・建物・高圧線・放送局・無線送信所・山間部・人の頭上等での使用は中止してください。
●フタバ社製クリスタルやデュアルコンバージョンのクリスタルは使用しないでください。

●以上の注意を超えた扱いや飛行時の不注意による事故、損害、損傷、破損について弊社は一切の責任を負いません。予めご了承下さい。

＜輸入元＞（有）ボーダック　ＨＯＢＢＹＮＥＴ　〒270-0157　千葉県流山市平和台2-14-9-103
WEB ： http://www-hobbynet-jp.com/　E-MAIL ： info@hobbynet-jp.com